



# 世界は日本を待っている

幕末、日本の開国を決めた徳川幕府の井伊直弼は、開国する意味について、「今は昔と違って、国どうして互いに物品を融通し合うのは当然のこと(有無相通するは天地之道也)」と、鎖国を否定し時代の趨勢を読んでいたことが知られている。

令和のいま。

日本が世界に向けて「開国、すべきときを迎えているように思えてならない。

幕末の日本は他国からの圧力によって国を開いたが、令和のいま、日本は進んで世界に貢献しながら、自国の存立を図っていくべきである。これを一言で表すならば、「共生」ということになる。世界は日本を待っているのである。

少子高齢化、人口減少時代に入れたわが国においては、日本の国柄を守りつつ日本人の国際性を高め、外国人材と共に活躍できる「グローバル人材共生社会」への環境整備を、国家的プロジェクトとして急がなければならない。これこそが、多様化する国際社会の中で共生していくための「令和の開国」なのである。

(巻頭言より)

# 日本再生 令和の開国論

## グローバル人材共生の青写真

### 【主な内容】

巻頭言：日本再生 令和の開国論

武部勤会長のメッセージ

第1章：グローバル人材共生の青写真

第2章：対談

ラグビー日本代表リーチマイケル選手、北岡伸一 JICA 理事長、大谷晃大・外国人技能実習機構理事長、片山さつき・自民党外国人労働者等特別委員会委員長、レロンソン・ベトナム送り出し機関「エスハイ」社長

第3章：外国人材活躍10人のストーリー

日本ベトロ (フィリピン)、東亜総研 (ベトナム)、シティコンピュータ (チュニジア)、向井建設 (ベトナム)、福岡情報ビジネス (ベトナム)、新光電気工業 (ベトナム)、富士産業 (ベトナム)、労管協・技能五輪 (タイ)、東洋ワーク (中国)、小金井精機製作所 (ベトナム)

第4章：外国人材共生のための基礎知識

「技能実習制度とは」「特定技能制度とは」「海外の実習生OB社長」などの基礎知識

第5章：政策提言

NAGOMI政務調査委員会・梅田邦夫委員長ほか

### 一般財団法人外国人材共生支援全国協会

#### 武部 勤 (たけべ・つとむ)

昭和16年(1941)、北海道斜里町生まれ。北海道議(4期)を経て1986年衆議院議員に当選。以降北海道12区で8期連続当選。2001年農水相、2004年自民党幹事長を歴任。2012年の政界引退後は、公益財団法人東亜総研代表理事。一般財団法人外国人材共生支援全国協会代表理事。日本ではたらく外国人との共生社会実現に向けて奔走している。

小学館刊

2000円+税 (2200円)

### 〈ご予約申込書〉

FAX送り先：FAX03-6261-5594

お問い合わせ先：TEL03-6261-5388

NAGOMI事務局：担当・小久保、菅原

貴社名				ご担当者名			
貴社ご住所	〒			E-Mail	@		
				TEL		FAX	
				請求書ご担当者			
所属・役職		ご希望部数		ご請求書送り先	〒		